

全国協議会 ニュース

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL. (03)3356-8217
FAX. (03)3356-8637
発行責任者:品川 保弘
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

「いのちの輝き」作品コンクール 作品募集!

全国協議会は設立15周年を記念して、「いのちの輝き」作品コンクールを開催します。

募集テーマは「いのちの輝き」です。読書感想文部門、短文部門(標語、キャッチコピー等)、アート部門(CG、絵画、写真等)の3部門があります。大賞の副賞はノース・ウエスト航空からご提供いただいたグラム往復ペア航空券です。

審査委員長は昨年日本アカデミー賞最優秀作品賞他各賞を受賞して話題になった映画「半落ち」の原作者である作家の横山秀夫氏です。

優秀作品は今後の骨髄バンク普及活動に活用させていただきます。たくさん「いのちの輝き」に満ちた作品との出会いが

楽しみです。ご応募、お待ちしています。また、各地団体においても積極的にPRをお願いします。

審査委員長は昨年日本アカデミー賞最優秀作品賞他各賞を受賞して話題になった映画「半落ち」の原作者である作家の横山秀夫氏です。



今年4月に北海道骨髄バンク推進協会稚内支部を立ち上げ、初めての催しとして8月23日から28日にかけて「いのちの輝き展」を稚内市立図書館イベントホールで開催しました。どなたの人も来てくれるか心配しましたが、期間中の図書館への来館者は3454名あり、そのうちの多くの方が足を止めて見てくれました。稚内市内で骨髄バンクの広報活動が行われるのは今回が初めてでしたが、じつと立ち止まって絵やメッセージ

光市と大和町合併1周年記念の「ふれあい・健康フェスティバル」で「いのちの輝き展」を開催しました。以前に「あやちゃん展」を開催したことがあるので、今回は「マモ展」「著名人のメッセージ展」を行いました。いろいろな出店やキャラクターショーがある中、会場の一番奥まったところが展示会場だったので、見てもらえるかと心配していましたが、静かな場所だったお陰で、じっくりと読まれている方が多かったです。

知り合いのライオンズクラブの方にも見ていただいて、市内の学生や若い人にもっと見てもらえる機会を考えてほしいとお願ひしました。若い人の痛ましい事件が多い今「MAMOのメッセージ」を是非読んでほしいと思います。(竹本)

作品コンクール応募要項

- 応募資格
 - ・プロ、アマを問わず応募できます。
 - ・年齢、性別、国籍は問いません。
 - ・応募者は応募作品の著作者本人か保護者、遺族に限ります。本人以外の場合はその仔細を文書で添付して下さい。
- 募集部門・規定
 - ①読書感想文部門
 - 一般(高校生以上) / 中学生 / 小学生 ※課題図書はHP参照
 - 自由 上記の課題図書以外の、骨髄移植をテーマにした作品
 - ②短文部門
 - 俳句、短歌、川柳、標語、キャッチコピー、患者さんへの手紙、ドナーさんへの手紙、エッセイ等。
 - ③アート部門
 - コンピューターグラフィック、水彩画、油彩画、パステル画、絵手紙、写真等。
- 応募期間 2005年10月1日(土)～2006年1月27日(金) 締め切り必着
- 審査員
 - 審査委員長 横山秀夫氏(作家)
 - 審査員 大石邦子氏(作家)、奥村聰臣氏(画家)、平賀太郎氏(画家)、野村正満氏(放送作家)等
- 入賞発表
 - 入賞者本人には2006年3月下旬頃通知します。5月上旬頃インターネットホームページと全国協議会ニュースに掲載。
- 表彰式
 - 2006年6月3日(土)に千葉県船橋市で行われる『2006全国骨髄バンクボランティアの集いin船橋』
- 賞 賞状及び副賞(記念品)
 - 大賞(厚生労働大臣賞) 1点
 - 最優秀賞(文部科学大臣賞) 1点
 - 優秀賞および副賞 各部門毎に2点
 - 奨励賞と副賞 各部門毎に5点
- 主催 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会、加盟49団体
- 送り先 問い合わせ先
 - 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
 - 〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody21-9F
 - TEL: 03-3356-8217 FAX: 03-3356-8637
 - e-mail: office@marow.or.jp http://www.marow.or.jp



全国協議会設立15周年記念事業 「いのちの輝き展」全国で開催中

今年4月に北海道骨髄バンク推進協会稚内支部を立ち上げ、初めての催しとして8月23日から28日にかけて「いのちの輝き展」を稚内市立図書館イベントホールで開催しました。どなたの人も来てくれるか心配しましたが、期間中の図書館への来館者は3454名あり、そのうちの多くの方が足を止めて見てくれました。稚内市内で骨髄バンクの広報活動が行われるのは今回が初めてでしたが、じつと立ち止まって絵やメッセージ

●山口

9月1日以降に51歳の誕生日を迎える人達は希望すれば延長できますが、それ以前に誕生日を迎えた人達は、バンクから一度取消の通知をもらっています。そういった人達が、今回の延長をどう思っているか、アンケート調査を実施しました。回答者は23人でした。

ドナー登録年齢 引き上げに関する アンケート

9月からドナー登録年齢が54歳まで引き上げられ、55歳まで骨髄提供できるようになりました。

ただ今に今回の年齢引き上げの決定に少々戸惑いもありました。後1年と2ヶ月。再登録する必要があるのか。

でも、この再登録を登録定年者や若い人達への啓発と考えれば意義があるのかもしれない、と9月1日静岡市の献血ルームで提供経験者の風間さんと登録当然報道依頼を出し、静岡第一テレビはニュースとして取り上げ、静岡新聞にも掲載されました。

9月1日以降に51歳の誕生日を迎える人達は希望すれば延長できますが、それ以前に誕生日を迎えた人達は、バンクから一度取消の通知をもらっています。そういった人達が、今回の延長をどう思っているか、アンケート調査を実施しました。回答者は23人でした。

9月1日以降に51歳の誕生日を迎える人達は希望すれば延長できますが、それ以前に誕生日を迎えた人達は、バンクから一度取消の通知をもらっています。そういった人達が、今回の延長をどう思っているか、アンケート調査を実施しました。回答者は23人でした。

●アンケート結果の特徴

年齢引き上げを知って、「もう一度登録したい」「うれしい」「ドナーになってみたい」など、大部分の方が肯定的にとらえています。以前の年齢制限まで10～14年あったという人が一番多いのですが、提供に至った人は一部にとどまっています。年齢制限を越えたときの気持ちは、「残念」「寂しかった」という答が多く、この気持ちが再登録へ

の意欲に繋がっているものと思われる。ドナーの年齢制限を越えて登録を抹消された経験者から、「再登録しました」という報告が寄せられましたので掲載します。

51歳の誕生日「私は元気で献血も出来るのに登録抹消は残念」と感じていました。でも提供出来る事だけではなく私にも出来る事は他にもあるはずだ、とこの数年間登録会等の広報活動を積極的に進めてきました。活動の中心を広報活動に向けてい

定年組も頑張っています。若い人達も勇気を出して登録して下さい。(川瀬)

第54回 理事会報告

9月18日
全国協議会事務局

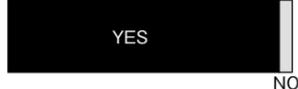
〈協議事項〉

- 名義後援、承認案件
- 会員制度見直しについて
- 理事会役割分担
- 15周年記念事業進捗状況
- ドナー登録年齢上限拡大に関する対応
- WEBサイト更新について
- 財団常任理事会報告
- 市民フォーラム準備状況
- 財団幹部との懇談会について
- 財団への要望書提出について
- ボランティアセミナーの開催について
- カレンダーの作成について

〈報告事項〉

- 財団常任理事会報告
- 市民フォーラム準備状況
- 財団幹部との懇談会について

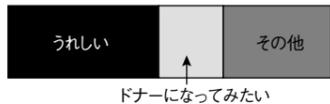
Q1 もう一度登録しますか?



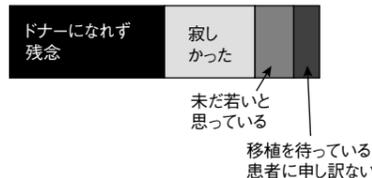
Q4 その間に提供に至ったか?



Q2 引き上げが決まった日はどんな気持ちだったか?



Q5 定年通告を受けた時の気持ち



Q3 定年までの登録年数



Q6 その他(自由記述)

・骨髄バンクは患者を助ける社会システムである
・若い人へのバトンタッチ



各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

津 新井英一LIVE in会津・酒蔵

骨髄ドナー経験者である県南支部の滝嶋邦彦さんが、大ファンの新井英一コンサートを初めて企画したのが1999年。それ以来、10年は続けると宣言し、6回目になる今年は、初めて会津で開催しました。



8月5日 末廣酒造嘉永蔵にて

23」のエンディングで開いて以来の大ファン。久々に熱く燃えた夏でした。収益の一部を、些少ではありますが、全国協議会に寄付させていただきます。(青木)

静岡 県民の日に「火火」上映

静岡県では、県庁の各部署が別々に行っている行事を特に集中的に実施する「県民の日」というイベントがあります。今年「男女共同参画センター」が男性社会の中で女性として独自の生き方をしているモデルとして「神山清子さん」を取り上げることに「火火」の上映会を県の予算で開催しました。県からは「上映会社」に対して業務委託がなされた訳ですが、

三菱ウェルファーマ株式会社
http://www.m-pharma.co.jp

創薬力

ごんにちは募金箱 その17

信和内科クリニック (兵庫県姫路市)

信和内科クリニックは、内科・呼吸器科(喘息)・消化器科・胃腸科を専門とされておられます。また3ヶ月に1度は姫路保健所にて、「悩みの相談室」を開いて患者さん・患者家族の方のいろいろな悩みに親切丁寧に答えておられます。

骨髄バンクとの関わりは、5

年前から、現在当会のボランティアをしていて患者さんが白血病と診断され、骨髄移植に至るまでお世話されたのがきっかけです。また、兵庫県立大学(元姫路工業大学)での大学祭で行うドナー登録会にも、ご協力いただいております。(濱田)



「上映会社」の方からも、人集めも含めてイベントを盛り上げる為、当会に協力依頼があり、「骨髄バンク」啓発のよい機会になるので協力することにしました。

静岡市では8月20日に「上映会」が開催され、県の募集で出掛けられた方、当会の呼びかけで参加された方合わせて約300名の方々が映画をみましました。

心からのご寄付に感謝申し上げます

8月22日～9月18日

㈱タクトコーポレーション	現金	30,000円
京都ドナーを募る会	現金	1,118
新井英一LIVE	現金	10,000
塩谷 圭	現金	1,000
匿名	現金	9,669
浅野邦夫	現金	10,000
鈴木純子	現金	1,340
吉本哲也	現金	1,000
土居優子	現金	6,300
●佐藤さち子患者支援基金	現金	1,000
飯島孝枝	現金	2,000
金崎由紀子	現金	20,000
●白血病患者支援基金・募金箱	現金	5,288
亀有駅前郵便局	現金	11,278
信照寺	現金	1,011
香寺ハーブガーデン	現金	602
信和内科クリニック	現金	6,978
ドラッグストアクスリのとがし	現金	(敬称略)

今年、日本さい帯血バンク ネットワーク全国大会兼年次報告会は大阪で開かれることになりました。

日時 11月19日(土) 14時～17時
会場 大阪府立成人病センター 講堂
(大阪市東成区中道1-3-3)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

最新医療情報 その③ 骨髄細胞を使った再生治療

再生医療とは「培養した細胞や組織、バイオデバイス(生きた細胞を組み込んだ医療器具)などを体内へ埋め込み、機能不全に陥った臓器や組織を再生・回復させる医療」なのですが、この分野では万能のES細胞が有名です。このES細胞、間葉系幹細胞と同様、近年、骨髄幹細胞、骨髄間質細胞が重視されてきています。

自己骨髄単核球細胞の移植による血管再生療法に加えて、骨髄細胞を用いた心筋再生治療が行われています。また、冠動脈が細くなる狭心症では、骨髄に含まれる「単核球」で血管を再生します。(関西医科大学)「血管内皮前駆細胞」で心筋梗塞患者の心臓に血管を作ります。(神戸先端医療センター)。血管内皮前駆細胞は骨髄より採取しやすく患者負担がさらに少ないです。アメリカでは、成人の骨髄の中にある間葉系幹細胞を培養して血球や骨、軟骨、腱・筋肉などの細胞・組織を作ること、ベンチャー企業オシリス・セラピューティクス社が成功しています。また、骨髄に含まれる骨髄間質細胞から、筋肉(骨格筋細胞)を効率よく作り出すことが2005年8月に京都大で証明されました。これは、筋ジストロフィーや、事故、手術で筋肉を失った患者の治療につながる可能性があります。

骨髄系の細胞は、患者本人や親族から採取でき、死亡胎児の細胞や受精卵を用いる再生医療に比べ、倫理面や移植時の拒絶反応の問題が少なく、有用性が高い点でも期待されています。もともと、造血幹細胞移植自体が生命の再生医療であるのですが、骨髄幹細胞、骨髄間質細胞は今までの守備範囲を超えた治療法に期待が集まっています。

リレー紹介 ボランティアの仲間たち

龍田洋子さん(愛知)の巻

旧愛知の会、はなのきの会の時からお手伝いいただいている龍田洋子さんを紹介致します。ご夫婦で手伝いいただいているのですが、今回は奥様だけをご紹介します。

「あいち骨髄バンクを支援する会」の龍田です。私が骨髄バンクと出会ったのは、8年前、小学5年生だった長男が悪性リンパ腫になったのがきっかけでした。長男は幸い化学療法で完治し、この春、自分のような病気を治したいと遺伝子の勉強のため

めに大学に入学しました。私は普段、骨髄ドナー登録会での説明員業務のほか、病院のイベント、各地のお祭りなどで普及啓発活動に参加しています。また、名古屋第一赤十字病院 親の会のスタッフの一員として、入院患児の親との茶話会、講演会のお手伝いをしています。ドラマ、小説などで骨髄バンクへの理解が増している昨今、少しでも患者さんたちの手助けができればと願っています。



恒例のクリスマス献血登録会での様子

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

- 8月の月間ドナー登録者数が、最多記録を11年半ぶりに更新
8月の月間ドナー登録者数は、過去最多の3614人でした。これまでの最多は平成6年3月の3578人で、11年半ぶりに最多記録を更新したことになります。7月の登録者が最近(平成14年1月以降)における「第2位」であったことから、その勢いが継続しているものと考えられます。
最多記録になった理由については、20歳未満の登録者が堅調に推移しているに加え、7月以降の公共広告機構・骨髄バンク支援キャンペーンが引き続き奏功しているといえます。問い合わせ件数も依然増えており、8月は3714件(7月は2875件)にも達しました。ほかに、企業における集団登録会などが活発に開催されたことが背景としてあります。
- 大手広告会社の部長が、472日間の白血病闘病記を出版
ホノルルマラソンを完走した経験を持ち、大手の広告会社で部長に昇格したばかりで働き盛りの41歳が急性骨髄性白血病に――。ちょうど2年前から始まった闘病生活を、吉田寿哉さんが「二人の天使」がいのちをくれた」のタイトルで単行本にまとめました。
発病時は結婚してまだ5カ月で、奥さんのおなかには第一子がすくすく育っていました。抗がん剤治療から再発を経て骨髄移植に臨もうとしたところ、最終的にはHLA適合ドナーがいませんでした。その後、さい帯

- ライオンズクラブが新宿アルタ前広場でチャリティーイベント
10年前の平成7年10月8日に、ライオンズクラブ国際協会330-A地区が東京・新宿アルタ前広場で総力を挙げて骨髄移植推進街頭キャンペーンを実施し、ドナー登録の呼びかけや骨髄バンク支援のための募金活動を行いました。このときは新宿アルタ前広場をはじめ、都内100カ所で募金と骨髄バンクの広報活動を繰り広げました。
今年には支援10周年を迎えたことや、330-A地区の委員会が「骨髄・さい帯血移植推進委員会」に改組されたことを受け、骨髄バンク推進月間である10月16日(日)に東京21世紀ライオンズクラブが中心となってイベントを企画したものです。
- 日本骨髄バンクの現状(2005年8月末現在)
7月 8月 現在数 累計数
ドナー登録者数 2,825 3,614 214,443 274,970
患者登録者数 170 207 3,013 18,961
骨髄移植例数 85 67 - 6,709
20歳未満ドナー 167 207 823 -
注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

骨髄バンクNOW

当日は、午前11時から新宿アルタ前広場でドナー登録者30万人に向けての呼びかけイベントを催しますが、午後にはトークショーも予定されています。さらに日本赤十字社の協力による献血併行型のドナー登録会や街頭募金を実施する予定です。
また、11月7日(月)には骨髄バンクへの経済的支援を目的としたチャリティーゴルフコンペ(同ライオンズクラブ主催)も予定されています。茨城県かすみがうら市の富士OGMゴルフクラブ出島コースが会場で、財団へ寄付が贈られることになっています。